

一般社団法人 川崎建設業協会 一般社団法人 神奈川県建設業協会川崎支部

協会

ニュース



宮前区 影向寺

- 協会長挨拶 (一社)川崎建設業協会 会長 山根 崇
- 2023年市長年頭あいさつ 川崎市長 福田 紀彦
- 寄稿 川崎北労働基準監督署長 渋谷 勇一
- 槌の音 特集 新入会員社長訪問
第43回かわさき市民祭り

- 会員の作品
住吉中学校校舎改修その他その3工事
株式会社 興建
- 市道生田260号線道路補修(L型側溝)工事
株式会社 丸栄建設
- 市道新城6号線道路補修(打換)工事
岡村建興 株式会社

目 次

3……	協会長挨拶	(一社) 川崎建設業協会 会長 山根 崇
4……	2023 年市長年頭あいさつ	川崎市市長 福田 紀彦
<hr/>		
■ 安全のページ		
5……	労働基準行政の重点課題	川崎北労働基準監督署長 渋谷 勇一
<hr/>		
■ 理事会ニュース		
6……	9 月太子講祭	
6……	理事会ニュース	
8……	懇談会・説明会・見学会・その他行事	
9……	関係団体の動き	
9……	各方面への協力	
10……	表 彰	
10……	特設作業隊関係	
10……	会員消息	
<hr/>		
■ 二世会だより		
11		
<hr/>		
■ 植の音		
13……	新入会員社長訪問	
14……	第 43 回かわさき市民祭り	
<hr/>		
■ 会員の作品		
16……	住吉中学校校舎改修その他その 3 工事	株式会社 興建
17……	市道生田 260 号線道路補修 (L 型側溝) 工事	株式会社 丸栄建設
18……	市道新城 6 号線道路補修 (打換) 工事	岡村建興 株式会社
<hr/>		
19……	編集後記	



(一社)川崎建設業協会 会長

山根 崇

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。本年が皆様にとって素晴らしい一年となるよう心から祈念いたします。

昨年11月から12月にかけて行われたサッカーのワールドカップでは皆様ご存じの通り素晴らしい活躍を日本の選手がされました。本当に多くの勇気と感動をいただけたと思います。特に、川崎出身の選手が多く活躍されたことは、同じ川崎で事業を行っている私共にとってもよりうれしさを感じております。今回は惜しくも目標であるベスト8までは届きませんでした。4年後のワールドカップにおいては達成してくれると思います。

ワールドカップ中、応援の様子が良く中継されてきました。しかし各国の観戦者にマスク姿の方はほとんどいませんでした。世界はすでにコロナ後になっていると実感致します。日本では現在、第8派の流行に入っていますが、with コロナは日常となり、通常通り経済活動を行うことが普通となっています。これまでの3年間、協会のあらゆる事業が中止または延期、縮小を余儀なくされ、大きな影響を受けました。現在ではコロナと上手に付き合いながら感染防止対策を行うことで、今年はしっかりと活動して参りたいと思います。どうぞよろしく願い申し上げます。

現在では脱コロナにより世界中がインフレに直面している状況であります。特にウクライナに対するロシアの軍事侵攻は大きく影響を受けています。昨年の4月ごろより急速にインフレが進行しています。また日本においても世界同時インフレの進行と共に円安にふれたため輸入資材を中心に価格が高騰し、本当に先行きが不透明な状態となっています。今年も相変わらずの上昇基調なのは間違いないようです。昨年7月にも緊急要望として急激な物価上昇への対応を行政関係各所をお願いしたところであります。今後

も引き続き協会としても社会環境を注視し官民含めて適正な予算要望をしていかななくてはならないと考えております。

さて近年、建設業では多くの課題を抱えています。もっとも逼迫した問題として担い手の確保が挙げられます。今後10年間で2割程度、建設業における就労者人口が減少します。すでに現状でも人手不足で業務に支障が出ている状態がより厳しくなると考えられます。当然、就労者を増やすために働き方改革を積極的に取り組んでいかななくてはなりません。しかしながら地元中小建設業にとって完全週休2日制の導入はハードルが高くまた、仕事の強度に見合う賃金の設定、制度の充実を図るには財務的に限界があります。やはり担い手を確保するためにも適正価格での受注が必要と考えます。特に建設業は公共工事が主体の会社もあり、適正価格での受注をするためには入札契約制度の改革は不可欠であり、早期に実現をさせていかなければなりません。協会としてもしっかりと活動して参りたいと考えております。そしてもちろん恒久的な人材不足を補うために生産効率を上げることも必須でありますし、そのためにICT技術の導入や建設DXに取り組んでいくことも重要であります。そして業界が陥っている「きつい、汚い、危険」の負のイメージを払拭し、若者がこの業界で働きたいと思える、女性でも違和感なく働ける、何よりも魅力ある職場環境を構築し、それを周知していかななくてはなりません。我々、地元建設業に対する認知の弱さも克服していかななくてはなりません。市民に対し、若者に対する地元建設業の魅力発信を協会として行ってまいりたいと思います。

そしてまた昨年も西日本を中心に多くの豪雨災害などが発生しています。いつ川崎で発災となっても迅速に行動できるように特設作業隊についてもしっかりと行政と連携していきたいと思っております。将来に向けて環境破壊の抑制を行うために排出ガスの低減も図っていかななくてはなりません。その実現に向けて協会としての取り組みも考えて参りたいと思っております。

最後に、協会として、一人でも多くの若者が地元で働こう、建設業で働こうと思えるような人材を地域で育む取り組みも行っていかななくてはならないと考えております。また我々地元中小建設業は地域で何かあった際には必ず先陣を切って動くそんなことを目指し活動してまいりたいと思っております。これからもどうぞよろしく願い申し上げます。

2023 年市長年頭あいさつ



川崎市長
福田 紀彦

新年、あけましておめでとうございます。

皆様にとりまして、今年一年が明るい話題にあふれ飛躍する年になりますようお祈りいたします。

昨年は、新型コロナウイルス感染症への対応や物価高の影響を受ける市民や事業者の皆様への支援に全力で取り組んでまいりました。今後も皆様が安全・安心な生活を送れるよう、引き続き取組を進めてまいります。

本市では、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を最重要施策として推進しております。また、社会経済状況や子どもを取り巻く環境が変化する中においても安心して子育てができるよう、小児医療費助成制度を拡充するとともに、災害時に備えた取組として、支援が必要な方の個別避難計画の作成支援や二次避難所の整備を進め、安心・安全の確保に向けて取り組むなど、「安心のふるさとづくり」に取り組んでまいります。

こうした取組を支える「力強い産業都市づくり」として、アジア初となる商用量子コンピュータが本市に設置されたことを契機に、国内最先端の研究機関等と連携し、産学官の共創拠点「量子イノベーションパーク」の実現や量子技術の社会実装に向けた取組を加速するとともに、臨海部で大規模な土地利用

転換に向けた取組を推進するなど、産業の活性化や新産業の創出を図ってまいります。

また、世界共通の課題である 2050 年の脱炭素社会の実現に向け、建築物への太陽光発電設備等を総合的に導入する施策を促進するなど、再生可能エネルギーの更なる普及に向けて、オール川崎で新たな取組に積極的に挑戦してまいります。

今年が本市が誕生してから九十九年を迎える年となります。市制百周年という歴史的な節目を間近にひかえる中、象徴となる事業である全国都市緑化かわさきフェアに向けた取組をはじめとして、皆様との協働・共創により、市全体で「多様で多彩なアクション」を生み出し、次の百年に向けた取組につなげていきたいと考えております。

複雑化・多様化する行政課題を、地域の実情を踏まえ迅速に解決していくため、これまで六十五年以上変わることのなかった指定都市制度に改革をもたらす「特別市制度」の創設に向けて取り組んでまいります。

引き続き、「SDGs 未来都市」として「成長」と「成熟」の調和する「最幸のまち かわさき」を目指して取り組んでまいりますので、皆様の御協力をお願いいたします。

労働基準行政の重点課題

川崎北労働基準監督署長 渋谷 勇一

令和5年の新春を迎えるに当たり、一般社団法人川崎建設業協会及び会員の皆様には、謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、日頃から労働行政の推進に多大なる御理解と御協力を賜っておりますことにつきまして、厚く御礼を申し上げます。

長引く新型コロナウイルス感染症は、企業の事業活動や労働者の労働環境にも大きく影響を及ぼしてきましたが、現在、県内の経済情勢の発表では、「ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される」とし、また、雇用情勢判断についても「一部に弱さが残るものの、持ち直しに向けた動きが広がっている」など、持ち直し傾向がみられますが、今後の物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

さて、本年度の労働基準行政の重点課題は、「働き方改革の推進に向けた労働時間に関する法制度の周知徹底」、「長時間労働の抑制及び過重労働による健康障害防止の徹底」、「第13次労働災害防止推進計画に基づく労働災害の防止」の3点となります。

まず、1点目の「働き方改革の推進に向けた労働時間に関する法制度の周知徹底」についてです。平成30年7月6日に「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」、いわゆる「働き方改革関連法」が公布され、以後順次施行されています。なお、建設業については、36協定で定める時間外労働の上限規制の適用が猶予されていますが、あと1年3か月と迫った令和6年4月1日以降、時間外労働の上限が原則月45時間・年360時間となり、臨時的な特別の事情がなければ、超えることができなくなります。また、臨時的な特別の事情（特別条項）があっても、「1年間の時間外労働は720時間以内」、「1か月の時間外労働と休日労働の合計は100時間未満」、「時間外労働と休日労働の合計について、「2か月平均」「3か月平均」「4か月平均」「5か月平均」「6か月平均」の全て1か月当たり80時間以内」、「時間外労働が月45時間を超えることができるのは年6回まで」のとおり時間外労働・休日労働はできなくなります。なお、例外規定があります。災害時の復旧・復興の事業に関しては、時間外労働と休日労働の合計について、「月100時間未満」、「2～6か月平均80時間以内」の規制は令和6年4月1日以降も適用されません。ただし、復旧・復興においても、年720時間の上限及び月45時間を超えることができる6か月の限度は、適用されます。次に、大企業で施行されています月60時間を超える時間外労働に対する割増賃金を50%以上の率で計算した支払いが、猶予されていた中小企業においても令和5年4月1日から法の適用を受けることとなります。

これらの内容を含めた働き方改革の推進するため、中小規模の事業場を対象に労働時間に関する法制度の周知や時間外労働等改善助成金などの各種支援策の紹介・利用勧奨を図るに

当たって、県内12の監督署には、「労働時間相談・支援コーナー」を設置しています。また、神奈川労働局の委託事業として「神奈川働き方改革推進支援センター」も設置しています。是非、働き方改革の実現に向け、これらの機関を御利用いただくなど、今までと異なった労働時間管理の在り方について準備、ご対応をお願いいたします。

続いて、2点目の「長時間労働の抑制及び過重労働による健康障害防止の徹底」についてです。働き方改革に関連して、引き続き、各種情報から時間外・休日労働時間数が1か月当たり80時間を超えていると考えられる事業場に対する監督指導の徹底のほか、違法な長時間労働を許さない取組などを内容とする「『過労死等ゼロ』緊急対策」の推進など、長時間労働の是正に向けた各種取組を推進しています。時間外・休日労働を行わせる場合には、その前提となる労働基準法第36条に基づく協定届の徹底はもとより、長時間労働の抑制に向けた積極的な取組をお願いいたします。

最後に、3点目の「第13次労働災害防止推進計画に基づく労働災害の防止」についてです。今年度本計画の最終年でありませんが、ご承知のとおり大きな最終目標は、全産業での休業4日以上死傷者数を6,223人以下、死亡者数を25人以下、うち建設業では死亡者数を5人以下、死傷者数を671人以下とする目標を掲げておりましたが、残念ながら令和4年11月末現在、建設業の死亡者数は7人、死傷者数も678人を数えるに至っております。

令和5年度には、新たに「第14次労働災害防止推進計画」がスタートします。厚生労働省では、昨年9月、令和5年度から5力年の第14次労働災害防止計画の策定に向け労働政策審議会安全衛生分科会が開催され議論されました。

労働災害防止計画とは、労働災害を減少させるために国が重点的に取り組む事項を定めた中期計画であります。これまで労働災害による死傷者数の削減等を目標として定め、取り組みを促してきましたが、第14次防の検討では、新たな目標・指標として、アウトプット指標（それぞれの重点課題に対する取組の効果を確認する指標イメージ）とアウトカム（達成目標）とする議論がなされています。更に第14次計画の柱の一つとしては、「労働者の協力を得て企業が自発的に安全対策に取り組むための意識啓発」を示しており、安全衛生対策に自発的・主体的に取り組むことを促すため、対策に取り組む企業が社会的に評価される環境の整備などを進めるとしています。何れにしても、第14次労働災害防止推進計画の詳細が示されましたら改めてお知らせしたいと思います。

最後になりますが、貴協会及び会員事業場の皆様方におかれましては、新しい年が素晴らしい年になるよう祈念いたします。新年の挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

9月太子講祭

9月28日、川崎建設会館において

令和4年9月太子講祭は、90名が参加し開催され、自由参拝、慰霊法要に続き、公認会計士・税理士佐々木一誠事務所 代表佐々木 一誠氏による「事例で見る円滑な事業承継のポイント」について講演いただき、終了後、同会場において懇親会を行った。

理事会ニュース

9月14日(水)午前11時より 4階会議室において

(川建協)

※令和4・5年度 常置委員会委員構成表

※(常置委員会委嘱状交付)

※委員会の事業活動について

●総務委員会

(1)健康診断の実施について

(2)インボイス制度説明会について

※令和4年度9月太子講祭の開催について

※会員従業員永年勤続協会表彰について

※第43回かわさき市民祭りへの参加と協賛について

川崎市長、市民祭り実行委員会

日 時 11月4日(金)～6日(日) 午前10時～午後4時30分

場 所 川崎区富士見公園一帯

協賛金 10万円

※第40回幸区民祭への協賛について

日 時 10月15日(土)・16日(日) 午前10時～午後4時

(両日とも)

場 所 幸区役所一帯

※第40回宮前区民祭への協賛について

日 時 10月16日(日) 午前9時～午後3時

場 所 宮前区役所・宮前市民館およびその周辺

※令和4年度川崎市総合防災訓練・第43回九都県市合同防災訓練に係る費用の支出について

◆宮前作業隊

①九都県市合同防災訓練参加費一式(未確定)

②作業隊活動費(支給額)

※算定基礎80,000円(一律)

+2,500円×隊員数(宮前作業隊9社)=102,500円

※建通新聞社「防災・減災」特集号への広告掲載について

※水道産業新聞社「特集川崎市上下水道局の施策展開」への広告掲載について

※健康診断の実施について

(1)日 時 10月12日(水)

午前9時30分～11時30分・午後1時～3時30分

場 所 川崎市民プラザ

(高津区新作1-19-1 ふるさと劇場)

(2)日 時 10月27日(木) 午前9時～11時30分

場 所 川崎建設会館 4階講堂

※建設資機材価格高騰等についての緊急要望に対する回答について

川崎市長

※令和5・6年度競争入札参加資格審査申請(業者登録)の継続申請のお知らせ(第2回)について

財政局契約課長

※工事請負契約における入札契約制度の見直しについて

財政局長

※下請契約及び下請代金支払の適正化並びに施工管理の徹底等について

県土整備局建設業課長

※建設業法令遵守ガイドラインの一部改正について

県土整備局建設業課長

※発注者・受注者間における建設業法令遵守ガイドラインの一部改正について

県土整備局建設業課長

※若手技術者表彰制度に関するアンケートへの協力について

財政局検査課長

※令和5年度特定業務委託契約の作業報酬下限額について

財政局契約課長

※消費税の適格請求書等保存方式の施行に向けた周知等について

川崎南税務署長

※令和4年度秋の全国交通安全運動の実施について

川崎市交通安全対策協議会会長

実施期間 9月21日(水)～30日(金) 10日間

(神建協・連絡)

特にありません。

10月19日(水)午前11時より 4階会議室において

(川建協)

※委員会の事業報告について

●総務委員会

健康診断の実施について

日 時 10月27日(木) 午前9時～11時30分

(午前中のみ)

場 所 川崎建設業協会 4階講堂

●企画委員会

第43回かわさき市民祭りの出店について

日 時 11月4日(金)～6日(日)

午前10時～午後4時30分

場 所 川崎区富士見公園一帯

(ふるさと交流広場 テントNo.302)

※令和4年9月太子講祭収支等の報告について

※令和5年正月太子講祭の開催について

※令和5年正月太子講祭実行委員会の編成について

※会員の入会について

◆南丸善興業 代表取締役 太田 勝晶

入会希望日：11月1日

◆高津建材興業(株) 代表取締役 浅川 綾子

入会希望日：11月1日

※川崎市産業振興協議会委員の推薦について

川崎市長

任 期 令和4年11月から令和6年10月(2年間)

被推薦者 副会長 佐藤 雅徳

※第21回防災防川崎南北分会合同安全大会の共催について

建設業労働災害防止協会神奈川支部

川崎南・北分会長

日 時 11月28日(月) 午後2時～4時

場 所 川崎市産業振興会館 1階ホール

※令和5年「かいぎしょ」新年号(1・2月号併合)の誌上年賀掲載について

※赤い羽根共同募金運動へのご協力について

社会福祉法人神奈川県共同募金川崎市支会連合会会長

川崎商工会議所会頭、川崎南法人会会長ほか連名

※令和4年度違反建築防止週間について

まちづくり局長

実施期間 10月15日(土)～10月21日(金)まで

一斉公開建築パトロールの実施

10月18日(火)・19日(水)

(神建協・連絡)

特にありません。

11月16日(水)午前11時より 4階会議室において

(川建協)

※委員会の事業活動について

●総務委員会

「インボイス登録制度」についての説明会の開催について

※令和5年正月太子講祭の招待者について

※年末助け合い運動への協力について

※令和4年度川崎市優良建築設計者表彰対象者の推薦について

まちづくり局長

令和4年度推薦予定会社：(株)北島工務店

(建築委員会推薦)

※第21回高津地区防災訓練参加に係る費用の支出について

11月5日(土) 川崎市立西梶ヶ谷小学校

※令和4年度宮前区防災フェア参加に係る費用の支出について

11月5日(土) 宮前区宮前美しの森公園

※新聞各社への年賀広告掲載費の支出について

※事務局職員に対する年末手当の支給について

※「インボイス登録制度」についての説明会の開催について

日 時 令和4年12月2日(金) 午後2時から1時間程度

場 所 川崎建設業協会 4階講堂

講 師 川崎南税務署 法人課税第一部門

統括国税調査官(予定)

※令和5年度予算への要望の回答について

川崎市長

※常任相談役の退任について

常任相談役 露木 直義氏

※令和4年度違反建築防止週間の一環として実施した一斉公開建築パトロールの結果について

まちづくり局長

※工事中の建築物に係る防火対策について

消防局長

※年末年始の行事日程について

(神建協・連絡)

特にありません。

12月14日(水)午前11時より 4階会議室において

(川建協)

※かわさき市民放送「2023年の声の年賀状」について

放送予定日 1月1日(日) 午前9時～10時・

午後6時～7時

※令和4年度第2回宮前区防災フェア参加に係る費用の支出について

12月4日(日) 野川第3公園ほか

※令和5年新年賀詞交換会について

(協会、神中建川崎支部 共催)

日 時 令和5年1月5日(木) 午前11時

場 所 川崎建設会館 4階講堂

※令和5年正月太子講祭について

日 時 令和5年1月26日(木) 午後3時15分 太子開講

午後4時00分 開 会

場 所 川崎日航ホテル12階 鳳凰の間

※公職選挙法及び政治資金規正法の規定による特定会社等の寄付禁止制限に関する周知について

川崎市長

※新型コロナウイルス感染症対策の神奈川県対処方針の変更について

神奈川県知事

※令和4年度「飲酒運転根絶強化月間」及び「年末の交通事故防止運動」の実施について

川崎市交通安全対策協議会会長

飲酒運転根絶強化月間 12月1日(木)～31日(土)

年末の交通事故防止運動 12月11日(日)～20日(火)

※下請契約及び下請代金支払の適正化並びに施工管理の徹底等について

県土整備局建設業課長

※農業振興地域内農用地区域の適正な土地利用について

川崎市市長

(神建協・連絡)

※令和5年建設業関連5団体合同賀詞交歓会の開催について

日時 令和5年1月5日(木) 午前11時

場所 横浜ロイヤルパークホテル 宴会棟3階「鳳翔」

懇談会・説明会・見学会・その他行事

【令和5年度への予算要望について】

7月13日と19日、市役所第2庁舎において、正副会長並びに岡村神中建 川崎支部長は、川崎市議会の各議員団と面談し、令和5年度への要望(7項目)について、意見交換を行った。

＝要望項目＝

- (1)週休2日制の導入について(継続)
- (2)補助金事業の発注について(継続)
- (3)PPP・PFI事業の導入について(継続)
- (4)資材単価高騰への対応について(新規)
- (5)川崎市(川崎市上下水道局)工事請負契約約款「第62条(あっせん及び調停)」及び「第63条(仲裁)」の条文に基づく運用の適正化について(新規)
- (6)最低制限価格算定式の改定(「一般管理費」に対する掛率の引き上げ)について(新規)
- (7)「災害時協定等締結団体」の会員業者に対する、入札参加資格におけるインセンティブについて(新規)

【緊急要望】

山根会長並びに岡村神中建川崎支部長は7月7日付けで、川崎市議会議員団の各団長あてに、建設資材単価高騰等についての緊急要望書を提出し、7月13日、19日の両日に開催された川崎市議会議員団との懇談会・意見交換会において、要望内容の説明を行った。

7月20日、川崎建設会館において、建築委員会はまちづくり局施設整備部と令和4年度事業及び今後の整備計画等

について意見交換を行った。まちづくり局より原嶋施設整備部長をはじめ6名、建築委員会より大島担当副会長、大川原委員長をはじめ14名が出席した。

7月28日、市役所第3庁舎において、山根会長をはじめ執行部8名は、川崎市市長を訪問し、令和4年度の役員改選に伴う執行部の体制について報告を行った。

9月2日、川崎建設会館において、建築委員会は健康福祉局と建設資材単価高騰に伴う対応等について意見交換会を開催し、市側から工藤施設課長をはじめ4名が出席、建築委員会から大島担当副会長、大川原委員長をはじめ9名が出席した。

9月28日、川崎建設会館において、9月太子講祭が開催され、開会に先立ち、令和4年度川崎市優良事業者表彰受賞者及び若手技術者表彰受賞者、女性技術者表彰受賞者の顕彰並びに令和4年度永年勤続者表彰を行なった後、山根会長挨拶、佐藤僧正による会員物故者慰霊法要を行なった。その後、公認会計士・税理士佐々木一誠事務所 代表佐々木一誠氏による「事例で見る円滑な事業承継のポイント」の講演会を行なった後、懇親会を開催し、会員56名をはじめ90名が出席した。

10月12日、市民プラザにおいて、労働安全衛生法に基づき、会員従業員等を対象に巡回健康診断が実施され、92名が受診した。

10月18日、タワーリパークにおいて、建設緑政局技術監理課と土木委員会との意見交換会が開催され、建設緑政局より星野技術監理課長をはじめ4名、港湾局技術監理課担当者1名が出席、土木委員会より重田委員長をはじめ4名が出席し、週休2日制工事案件の見直し、遠隔臨場の取り組みなどについて意見交換を実施した。

10月27日、川崎建設会館において、労働安全衛生法に基づき、会員企業従業員等を対象に巡回健康診断が実施され、110名が受診した。

なお、今年度は、10月12日の市民プラザと併せて202名(市民プラザ：92名、川崎建設会館：110名)が受診した。

11月4日(金)～6日(日)、川崎区富士見公園一帯で開催された第43回かわさき市民祭りに川崎建設業協会が参加し、担当である企画委員会は、各区作業隊の協力のもと、災害に係る被災地の救援パネル展示、建設小型重機の試乗撮影などを行い、協会の存在を広くアピールした。また、これに伴う費用は、参加費、景品代、重機リース、作業隊日当等を含め362,007円となった。

11月8日、川崎建設会館において、建築委員会は、財政局と来年度の入札契約制度等について意見交換会を開催し、財政局契約課より大塚契約課長、川端担当課長をはじめ3名が出席、検査課より柳課長をはじめ2名が出席、建築委

員会より大島担当副会長、大川原委員長をはじめ14名が出席した。

11月16日、川崎建設会館において、令和5年正月太子講祭第1回実行委員会を開催し、開催方法等について検討した。

12月2日、川崎建設会館において、川崎南税務署 統括国税調査官・上席調査官をお招きして、総務委員会主催の「インボイス登録制度」についての説明会が開催され、総務委員会より佐藤担当副会長、岡村委員長をはじめ34名が出席した。

関係団体の動き

8月4日、県建設会館において、県土整備局との懇談会が開催され、村松副会長が出席した。

8月17日、県建設会館において、教育懇談会が開催され、村松副会長が出席した。

9月27日、神奈川県建設会館において、第3回理事会が開催され、福島理事、大島理事が出席した。

10月17日、神奈川県建設会館において、神奈川県土木施工管理技士会の令和4年度第2回運営委員会が開催され、藤原委員が出席した。

10月18日、神奈川県建設会館において、第4回常任理事会が開催され、村松副会長が出席した。

10月31日、メルパルク横浜において、関東地方整備局との懇談会及び意見交換会が開催され、村松副会長が出席した。

11月17日、令和4年度県土整備局震災対策訓練が実施され、村松副会長が情報伝達訓練に参加した。

11月21日、神奈川県土木施工管理技士会と県土整備局技術監理課との懇談会が開催され、運営委員会から藤原委員が出席した。

12月6日、ローズホテル横浜において、第5回常任理事会が開催され、村松副会長が出席した。

各方面への協力

7月19日、川崎日航ホテルにおいて、令和4年度川崎市の幹線道路の整備を促進する会の総会が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

7月25日、川崎市産業振興会館において、令和4年度川崎市交通安全対策協議会総会が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

7月27日、川崎市産業振興会館において、令和4年度川崎市労働災害防止研究集会運営会議が開催され、大島副会長が委員として出席した。

7月27日、川崎市産業振興会館において、川崎市労働問題懇談会が開催され、大島副会長が委員として出席した。

7月27日、JAセレサみなみビルにおいて、令和4年度第2回川崎市環境審議会脱炭素化部会が開催され、建築委員会大川原委員長が委員として出席した。

7月27日、川崎建設会館において、交建会事業連絡懇談会が開催され、川崎区役所道路公園センターより小林所長をはじめ4名、南部都市基盤整備事務所より新西所長をはじめ2名が出席、交建会10社のうち当協会より9社が出席し、令和4年度事業説明を受けた後、資材価格高騰に係る設計変更等について意見交換を行った。

8月25日、市役所第3庁舎において、令和4年度川崎市優良事業者表彰式が開催され、山根会長が来賓として出席した。

9月1日、川崎市産業振興会館において、(仮称)川崎市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会設立総会及び第1回総会が開催され、佐藤副会長が委員として出席した。

9月16日、川崎市総合自治会館において、令和4年度かわさき市民放送(株)第3回取締役会が開催され、山根会長が取締役として出席した。

9月30日、川崎建設会館において、第21回建災防川崎南北分会合同安全大会の開催に伴う打合せ会議が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

10月4日、川崎市産業振興会館において、第43回かわさき市民祭りバザール等出店者説明会が開催され、企画委員会より吉田委員長をはじめ副委員長2名が出席した。

10月13日、オンラインにて、第5回川崎市環境審議会脱炭素部会が開催され、大川原建築委員長が委員として出席した。

10月24日、川崎日航ホテルにおいて、自民党神奈川県第十選挙区支部第27回定期大会が開催され、山根会長が出席した。

10月28日、川崎市PPPプラットフォームコアメンバー会議がZoomにて開催され、鳥羽建築副委員長が委員として出席した。

11月1日、川崎市産業振興会館において、令和4年度川崎市労働災害防止研究集会が開催され、当協会より門ノ沢専務理事並びに企画委員会吉田委員長をはじめ4名が出席した。

11月17日、「神奈川県公共建築物に係る地震時の点検等の協力に関する協定」に基づく震災対策訓練が実施され、川崎治水センターに東生建設(株)、川崎臨港警察署に大川原建設(株)、多摩警察署に清宮建築(株)が現地に出勤するとともに、県土整備局と事務局が情報伝達訓練を実施した。

11月24日、ロイヤルホールヨコハマにおいて、令和4年

度道路の整備を求める神奈川県大会が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

11月25日、川崎建設会館において、交建会主催による「令和4年度安全講習会」並びに、終了後、稲毛神社において安全祈祭が開催され、山根会長が来賓として出席した。

11月28日、神奈川県建設会館において、㈱神奈川県建設会館第63期定時株主総会が開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

11月28日、川崎市産業振興会館において、第21回建災防川崎南北分会合同安全大会が開催され、山根会長が来賓として出席した。

12月1日、横浜ロイヤルパークホテルにおいて、自由民主党神奈川県支部連合会政経文化パーティーが開催され、門ノ沢専務理事が出席した。

12月7日、川崎フロンティアビルにおいて、「川崎市地域団体連絡会議」役員会並びに講演会が開催され、山根会長が理事として出席した。

表彰

(敬称略)

会員企業従業員永年勤続協会表彰

9月28日、9月太子講祭において

大山 昇	㈱石塚土木	犬塚 稔	㈱大山組
堀江 武蔵	㈱大山組	安藤 健一	㈱大山組
服部 幸央	㈱大山組	岩田 優子	㈱大山組
鈴木 博和	㈱大山組	杉本 正	幸伸工業㈱
高橋 将之	幸伸工業㈱	山下 正人	幸伸工業㈱
米倉 万智	ジェクト㈱	泉 実貴	篠原建設㈱
後藤 凌太	篠原建設㈱	吉澤ひとみ	㈱伸栄工事
星野 守	神明建設㈱	藤井 健	神明建設㈱
木村 裕次	神明建設㈱	佐藤 誠一	矢島建設工業㈱
下内 昇	矢島建設工業㈱	田村 貴裕	矢島建設工業㈱
小林 守	矢島建設工業㈱	宇野 耕三	矢島建設工業㈱
佐藤 有夏	㈱山根工務店		

建設業退職金共済制度普及協力者表彰

10月1日、建退共神奈川支部より

㈱トビキク 代表取締役 吉田 哲也

第11回スマートライフスタイル大賞表彰

10月26日、川崎市役所第4庁舎において

奨励賞(3R推進賞) ㈱渡辺土木
代表取締役 渡辺 誠一郎

令和4年度川崎市労働災害防止功労者・功労団体表彰

11月1日、川崎市産業振興会館において

- ◆川崎市労働災害防止功労者
㈱横山工務店 代表取締役 横山 清
- ◆川崎市労働災害防止功労団体
㈱伸栄工事

特設作業隊関係

11月5日、川崎市立西梶ヶ谷小学校において、第21回高津地区防災訓練が開催され、高津作業隊から浅川隊長をはじめ5社が参加し、災害派遣に係る作業隊出動時の記録写真の展示を行い、建設業と作業隊の広報に努めた。

11月5日、宮前区宮前美しの森公園において、令和4年度宮前区防災フェアが開催され、宮前作業隊から河合隊長をはじめ3社が参加し、防災啓発や重機等ラジコン操作体験などを行い、建設業と作業隊の広報に努めた。

11月16日、幸区役所において、令和4年度第1回幸区災害対策協議会地域防災連携部会が開催され、幸作業隊より吉田隊長が出席した。

11月22日、中原区役所において、中原建友会(中原作業隊)と中原区選出市議会議員との意見交換会が開催され、中原議員団から代表幹事・重富市議をはじめ10名が出席、中原建友会(10名のうち中原作業隊10名)から横山会長、中原作業隊 重田隊長をはじめ10名が出席し、川崎市の入札制度の現状や建設キャリアアップシステムの対応、建設資機材の高騰等、多岐にわたる要望等について意見交換を行った。

11月24日、中原区道路公園センターの地震後における点検パトロール訓練が実施され、中原建友会(13社のうち中原作業隊13社)は、緊急交通路・輸送路の安全確認のため、震後点検パトロール訓練と情報伝達訓練に参加した。

12月4日、宮前区野川第3公園ほかにおいて、令和4年度第2回宮前区防災フェアが開催され、宮前作業隊から河合隊長をはじめ6社7名が参加し、防災啓発や重機等ラジコン操作体験などを行い、建設業と作業隊の広報に努めた。

会員消息

会員の入会

(有)丸善興業 代表取締役 太田 勝晶(11月1日)
高津建材興業㈱ 代表取締役 浅川 綾子(11月1日)

常任相談役の退任

常任相談役 露木 直義(露木建設㈱を退任により)

令和4年9月9日

第3回 役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。
12月例会(年末締め忘年会)、今後の活動等について協議した。



令和4年9月29日

神奈川県建設業青年団体連絡協議会 秋季幹事会

午後7時より、厚木市「和彩 旬の郷」にて開催。
令和4年度の秋季親睦会担当幹事である厚木市建設業二世会の地元で開催され、秋季親睦会についての意見交換を行った。



令和4年10月15日

第96回 リーダーズカップ

ニュー南総ゴルフ倶楽部にて開催。

参加者 15名

優勝 石田 純(追川建設(株))

準優勝 柳 浩先((有)柳商店)

第3位 澤田 貴裕((株)澤田組)

今年も無事に開催された本大会は二世会のメンバー中心にOBの方々を交えての楽しいゴルフコンペとなった。

優勝は初参加の石田さん！この日は勝利の美酒に酔いしれた。

また、二世会副会長柳さんが準優勝、会長澤田さんが第3位と二世会現職役員の意地を見せつけた。



令和4年10月21日

第4回 役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。
1月例会(新年親睦会)、令和4年度会費請求等、について協議した。



令和4年10月28日

神奈川県建設業青年団体連絡協議会 秋季親睦会

大厚木カントリークラブにおいて、親睦ゴルフコンペが開催された。
各班熱き戦いを繰り広げながら、結果は優勝が渡辺誠一郎さん((株)渡辺土木)、準優勝が飯島一貴さん((株)KEIHIN)と川崎建設業協会の1.2フィニッシュ！



プレー後もコンペの興奮冷めやらぬまま親睦会へ、他団体との一層の交流を深めた。

令和4年11月11日

第5回 役員会

午後6時30分より、川崎建設会館3階会議室にて開催。
今後の活動について協議した。

令和4年11月18日

横浜建設業青年会「OPEN例会」開催

神奈川県建設会館において、「李国秀が語るスポーツは」～人づくり(人格を形成する)・世界を除く窓(世界を除く窓)・3世代論(3世代が集う機会と場所づくり)～と題したテーマでヴェルディ川崎(現・東京ヴェルディ)・桐蔭学園高等学校サッカー部等で監督をされた李国秀氏の講演会が行われた。

令和4年11月24日

神奈川県建設業青年団体連絡協議会(県青連)「黒岩神奈川県知事との懇談会」開催

ロイヤルホール横浜にて開催された。

3年ぶりとなる今回は食事を兼ねて各団体が意見交換等を含めた交流を図りながら、知事に近況の活動報告や未来の建設において感じていること等を直接報告できる有意義な時間をとった。

知事からは先日渡航されたベトナムでの活動報告や実習生に対するの接し方のアドバイス等の助言を頂いた。

そして、今後も各団体との積極的な意見交換を希望し、明るい未来に向けて共に歩んでいこうという激励も頂いた。

また、本会の謝辞を川崎建設業協会二世会会長が承り、バラエティに富んだスピーチを披露し会を和やかに締めくくった。

令和4年12月16日

第6回 役員会・令和4年締めめの忘年懇親会 開催

午後6時30分より、「焼肉 乃助」にて開催。

一年間の活動を労いながら、今後の課題や活動内容について幅広く協議した。



特集 新入会員社長訪問



会社名 **有限会社丸善興業**

代表者 代表取締役 太田 勝晶

本社 神奈川県川崎市高津区子母口510番地5
 TEL: 044-754-7398 FAX: 044-754-7391
 住所 相模原営業所 神奈川県相模原市南区磯部1460-14
 いわき営業所 福島県いわき市小名浜字横町6番

代表者プロフィール

家族構成	妻・長男・次男・三男
血液型	O型/温厚な性格
出身	北海道生まれ、小学校1年生まで横浜市で 小学校2年生から川崎市で育つ。
趣味	スキューバダイビング・ツーリング
好きな言葉/モットー	一心不乱・原点回帰
好きなもの	寿司・日本酒(30代後半から日本酒にハマる)
社長就任日	平成25年6月



■会社概要、沿革、業務内容

昭和59年5月創業、『有限会社丸善興業』として昭和60年8月設立し上下水道工事業、特に配水管、給水管等の上水道工事業に力をいれています。

平成27年10月福島県いわき市に『いわき営業所』を新設しました。
 平成30年7月神奈川県相模原市に『相模原営業所』を新設しました。

■夢とこの業界への思い

神奈川県で水道工事業者といえば丸善興業といわれる会社になることを目標に、従業員と共に日々努力を続け精進を忘れることなく邁進していきたいと考えています。

また建設業の発展のためにイメージアップは必要不可欠であると感じています。建設業の仕事は世の中にとってなくてはならない大切な仕事にもかかわらず若者離れが進んでいます。この流れを食い止めるためには行政へ積極的に働きかけをしていき、タッグを組んで取り組んでいくことが必要だと思えます。幼少期の子供達が将来「サッカー選手になりたい」と夢を語るように「道路の工事をやる人になりたい」と言われるようなイメージアップを図りたいと考えています。

■当協会への入会に際して

令和元年台風19号の影響を受け多摩川が氾濫しました。当時協会員ではなかったのですが、地域貢献のために災害時の特設作業隊として活動したいと思いました。協会員の皆様と一丸となって建設業の発展のために従事していく所存です。今後ともよろしくお祈りいたします。

■あとがき

お忙しい中、「新入会員社長訪問」の取材を快く受けていただき、ありがとうございました。

会社や従業員の将来だけでなく、建設業全体の将来をしっかりと考えていらっしゃいました。

取材をさせていただいた私も大変勉強になりました。

太田勝晶社長の益々のご活躍と、御社の発展をお祈りいたします。



第43回かわさき市民祭り



3年ぶりの開催となる第43回かわさき市民祭り、(一社)川崎建設業協会の出展ブースの傍らには、ドスンと鎮座した建設重機のバックホウ氏がいた。

開場前からの熱い視線に戸惑う彼が配属され、3日間の任務がスタートした。

数人乗りの保育車に乗ったチビっ子たち、お母さんに抱っこされたリボンだらけの女の子、重機に興味津津の男の子たち、お子さんよりも興味を示すお父さん、時間を追うごとにその熱視線は増えつづけ、ひるむバックホウ氏。

制限だらけのコロナ禍、操縦席に座る誇らしい笑顔の小さなオベさんたち。そして途切れることのない長蛇の列。

バックホウ氏のやる気スイッチはONのまま、無事3日間の任務をやり遂げ、バケツに泥も汗臭さもなけれど、彼はすがすがしい気分で回送車に乗り込み帰路についた。

今年は、感染対策を考慮して中止した、恒例の大人気ラジコンショベルカーに代わり、川崎建設業協会twitter登録キャンペーンとして、重機や動物のペーパークラフトや、建設業をわかりやすく紹介する冊子、お菓子の配布を行い、ここにもたくさんの笑顔がありました。時代の変化は、SNSだとか、昭和世代人気No.1だったはずの「めんたい味」から、

刺激の少ない「コーンポタージュ味」へとか。

災害時における我々、特設作業隊の底力が、展示したパネル写真だけでは伝えきれなかったとしても、市民の皆様と笑顔でふれ合い、いつの時代もなくてはならない建設業界の一員として誇りを持ち、安全に日々の業務を行っていくことで、変わらず伝えて行く大切さを実感した3日間となりました。



会員の作品



工事名称 住吉中学校校舎改修その他その3工事

工事場所 川崎市中原区木月住吉町27番1号

工事概要 建築工事

既存校舎の普通教室、特別教室、管理諸室、廊下及び階段の内装改修(天井、内壁、床、建具、家具)、トイレ改修、外構工事、印刷室及び事務倉庫の撤去工事 等

電気設備工事

電灯設備、動力設備、受変電設備、構内情報通信網設備、構内交換設備、情報表示設備、拡声設備、誘導支援設備、テレビ共同受信設備、火災報知設備 等

機械設備工事

冷暖房設備、換気設備、衛生器具設備、給排水設備、給湯設備、消火設備、都市ガス設備 等

発注者 川崎市長

監督官庁 川崎市まちづくり局施設整備部長寿命化推進担当

工期 令和3年5月6日～令和3年12月24日

施工 株式会社 興建

☆令和4年度 川崎市優良事業者表彰(業種:建築) 被表彰者



工事名称 市道生田260号線道路補修（L型側溝）工事

工事場所 川崎市多摩区生田4丁目10番地先

工事概要 【1工区】

工事延長 L=101.2m 施工幅員 W=4.0~7.0m L型側溝(A) L=51m、他

【2工区】

工事延長 L=54.5m 施工幅員 W=3.9~6.5m L型側溝(A) L=39m、他

【3工区】

工事延長 L=28.9m 施工幅員 W=4.0~7.6m L型側溝(A) L=27m、他

発注者 川崎市長

監督官庁 川崎市多摩区役所道路公園センター

工期 令和3年9月10日~令和4年3月8日

施工 株式会社 丸栄建設

☆令和4年度 川崎市優良事業者表彰（業種：土木） 被表彰者

会員の作品



工事名称 市道新城6号線道路補修(打換)工事
工事場所 川崎市中原区新城3丁目3番地先
工事概要 工事延長 L=290.0m
 施工幅員 W=4.90m~7.52m
 施工面積 基層 A=2,020㎡
 中間層 A=2,020㎡
 表層 A=2,020㎡
 区画線工 N=1式
 交差点鉤 N=1基
発注者 川崎市長
監督官庁 川崎市中原区役所道路公園センター
工期 令和3年9月21日~令和4年1月4日
施工 岡村建興 株式会社
 ☆令和4年度 川崎市優良事業者表彰
 (業種:舗装) 被表彰者

影向寺

影向寺（ようごうじ）は、平成 27 年 3 月 10 日に川崎市初の国史跡に指定された「国史跡橋樹（たちばな）官衙遺跡群」の影向寺遺跡上に建つ南関東屈指の古刹として知られており、宝永 7（1710）年撰述の『影向寺仮名縁起（かなえんぎ）』によると、奈良時代の天平 12（740）年に聖武天皇の命を受けた僧行基によって開創されたと伝えられています。

国指定重要文化財・木造薬師如来両脇侍像（やくしによらいりょうわきじぞう）を始め、神奈川県指定重要文化財・薬師堂（やくしどう）などの豊かな文化財が保管されています。川崎市教育委員会では、橋樹官衙遺跡群に

ついて、将来にわたり保存し、史跡の価値と魅力を広く伝えるとともに、遺跡群及びその周辺地域がもつ歴史や価値を活かしたまちづくりを図るために整備基本計画を策定。当時の建物の復元や、史跡公園などの整備を行っていく予定です。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。

2023 年新しい年が始まりました。

昨年を振り返りますと 1 月～3 月中旬までは、コロナウイルス感染者が増加傾向にありましたが、3 月下旬に全国的にまん延防止等重点措置が解除され、徐々に感染者が減少し、ようやく 5 月頃から日本国内におきまして、経済活動が動き出して参りました。そんな明るい兆しが見え始めてきた最中、2 月下旬からロシアがウクライナに対し攻め込み、戦争が始まりました。コロナ禍が落ち着いてきた状況で戦争が始まってしまい、再び全世界におきまして経済が落ち込み、インフレ加速が起こりあらゆる物価が上昇し、現在も戦争は終わらず不安な状況が続いております。

しかしながら明るい出来事もありました。2022 年 11 月にサッカーワールドがカタールにて開催され、日本は強豪ドイツ、スペインに勝利し見事 1 位通過で決勝トーナメントに進出しました。決勝トーナメント 1 回戦で惜しくも PK でクロアチアに敗れ、目標であったベスト 8 には進めませんでした。日本全体が盛り上がり大きな経済効果が生まれました。

また、建設業におきましても日本の企業クボタがワールドカップの期間中何度も CM で流れておりましたが、夏になると気温 50 度を超えるカタールで水道事業（上水道メカリザーバープロジェクト）に参画し、東京ドーム約 8 杯分の水を貯水するための 24 個の巨大貯水池と、それらを接続し送水する約 480 キロの送水管路、ポンプ場を新設する事業で、首都ドーハの市民 7 日分の貯水量が確保できるとしており、クボタは水道管に利用されるダクタイル鉄管とポンプの約 3 分の 2 を受注し、水道管においては、総延長距離約 480km の約 3 分の 2 にあたる約 300km の水道管を納品するだけでなく、地中に設置して正しく接合するところまでをトータルでサポートしたことも、クボタが選ばれた理由のひとつだそうです。

川崎建設業協会におきましても、これから先も市民の安心、安全を守るインフラ整備を行い、様々な災害におきましても、柔軟に対応できるように求められていると思います。建設業の役割を考え、市民の生活が常に安定した日々を送れることを、目指していければと思います。

2023 年皆様にとって、幸多き一年になるよう心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

川崎建設業協会のTwitterです。
ぜひご登録をお願いします。



発行所…………… 一般社団法人 川崎建設業協会

川崎市川崎区宮本町7番地5

電話 044-244-5156(代) FAX 044-211-2420

発行責任者……………山根 崇

編集者……………一般社団法人 川崎建設業協会 企画委員会